



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	投稿規程・執筆要項、編集後記、奥付
Citation	教育福祉研究, 24
Issue Date	2020-02-27
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/76880
Type	other
File Information	100-0919-6226-24.pdf



「教育福祉研究」投稿規程

1. 投稿者は原則として、教育学研究院教官（非常勤講師を含む）・大学院生、教育福祉論（旧・教育計画）研究グループ出身者とする。
2. 投稿にあたっては、別途定める執筆要項（最新号参照のこと）に従って原稿を作成し、印字原稿2部と、原稿をWordまたはテキスト形式で保存した電子媒体を提出すること。
3. 投稿論文は、当該研究グループに設置する編集委員会で審査し、一定の研究水準に達しているとともに、新たなファクト・ファインディングがあるなど、公表することに社会的意義があるものを積極的に取り上げる。
4. 投稿の締め切りは、原則として毎年5月末日とする。

執筆要項

1. 原稿は、縦置きA4用紙に横書きで、1600字（40字×40行）で印字し、図表を含めて15枚以内とする。
2. 本文の見出しは以下のように統一する。
 1. 2. 3. ……「章」に相当
 - (1) (2) (3) ……「節」に相当
 - 1) 2) 3) ……「項」に相当
3. 文章の形式は、口語体、常用漢字を用いた新かなづかいを原則とする。また読点は「、」で、句点は「。」で入力する。
4. 本文中の脚注番号は、該当箇所（1）2）の肩番号を付し、文末に番号順に記す。
5. 引用文献は本文の該当箇所（執筆者名（姓のみ）西暦出版年（4桁表示）：引用頁）を示し、タイトル等は文末の文献リスト（注がある場合はその後）に記載する。
【例】（麓山1978：221）（Sen 1985：訳書14-15）
6. 文末における文献リストは、著者（ファーストネームのファミリーネーム）のABC順に並べる。また、
 - ① 著者名（外国語の文献の場合もファミリーネームを最初にする。ファーストネームおよびミドルネームはイニシャルだけでもよい。）
 - ② 西暦出版年（4桁表示）
 - ③ タイトル（邦文の場合：単行本は『』、論文は「」
欧文の場合：単行本はイタリック体）
なお、邦文の場合はタイトル—サブタイトルとし、欧文の場合はタイトル：サブタイトルとする。
 - ④ 掲載雑誌名（和雑誌の場合は『』、洋雑誌の場合はイタリック体）および巻号
 - ⑤ 出版社名
 - ⑥ 掲載頁（論文の場合）を表示する。なお、同じ年に発行された同じ著者の文献が複数ある場合には「1998a」「1998b」のように出版年の後にアルファベットを付けて区別する。
【例】青木紀（2003）『貧困の世代的再生産の視点』『教育福祉研究』9、1-8。
麓山京（1978）『公的扶助論』光生館。
Nussbaum, M.C. (1999) Women and equality: The capabilities approach, *International Labour Review*, 138(3), 227-245.
Sen, A. (1985) *Commodities and Capabilities*, North-Holland. (=1988、鈴木興太郎訳『福祉の経済学—財と潜在能力』岩波書店)
杉村宏（2003）「第6章 貧困家族の自立支援とケースワーカー」青木紀編著『現代日本の「見えない」貧困—生活保護受給母子世帯の現実』明石書店、191-210.
7. 図表は、「図1」「表1」のように表示し、図表の出所、説明、記号等を付記する。
8. 編集委員：松本伊智朗（本研究院教授）、鳥山まどか（本研究院准教授）

札幌市北区北11条西7丁目 北海道大学大学院教育学研究院 教育福祉論研究グループ

編集後記

2019年の流行語大賞は「身の丈」で決まりだと思っていたら、「桜を見る会」「シュレッダー」が急浮上して、どれになるか楽しみだった。結果は「One Team」で、付度（17年度大賞）でもあるまいし、「そだねー（18年度大賞）」と簡単に頷くわけにはい

かない。研究ができることは地味だが、こんな世の中だからこそずっと続けて行くことが大事だと、つくづく感じる。今号の9本のうち卒業論文が3本、修士論文が3本で、研究室出身の中堅研究者からも寄稿があった。1994年から5回目になる北海道ひとり親調査の特集も組めた。捨てたもんでもないかも知れない。（松本）

